

地域・社会との共生

環境活動や次世代育成支援活動、地域に根ざした活動を通じて、
地域・社会の課題解決に貢献します。

2015年度の主な取組み内容

- ▶ **地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取組み** P86~93
 - 出前授業やエコ・マザー活動などの次世代育成の取組みについて、教育機関等と連携しながら、エネルギー・環境教育に取り組みました。
 - 自治体や経済団体等との対話の中から、地域課題や当社グループへの期待・ニーズを把握するとともに、産学官で連携して行う地域プロジェクト等において、当社グループの経営資源や社外の知見も活用した地域貢献策を企画・提案しました。
 - 地域に密着した事業形態を活かして、高齢者等の地域見守り活動や子ども110番活動への協力に取り組みました。
 - 当社及びグループ会社と一体となって、地域ニーズや課題に応じたボランティア活動を実施しました。
- ▶ **九州各地における地域の皆さまとのボランティア活動** P94~96
 - NPOや地域の方々と協力してボランティア活動に取り組む「こらぼらQでん」について、活動回数や協働先を増やし、多くの方々と一緒に活動を行いました。

2016年度の主な行動計画

- ▶ **地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取組み**
 - 環境保全と環境教育を組み合わせた新たな環境活動を、九州各地で展開します。
 - 九州地域で事業を展開していく企業として、九州地域に広く貢献し続けるため、「一般財団法人 九電みらい財団」を設立し、「環境活動」と「次世代育成支援」を行っていきます。
 - グループの経営資源を活用した活動の拡大など、グループ一体となった活動を展開していきます。
 - 「地域創生」に取り組む自治体や経済団体等との対話を継続するとともに、当社グループの知見や、ノウハウ等の経営資源を活用できる地域課題解決に向けた取組みを積極的に展開していきます。
- ▶ **九州各地における地域の皆さまとのボランティア活動**
 - 地域の方々と共に取り組むボランティア活動「こらぼらQでん」の活動地域を段階的に拡大するとともに、魅力ある活動の企画や積極的な告知を行うことで、より多くの地域の皆さまと一緒に取り組んでいきます。

地域・社会共生活動の更なる充実へ向けた取組み

地域・社会共生活動基本方針

当社は創業以来、地域社会の発展と地域との信頼関係が当社の持続的発展の基盤であるとの認識の下、2006年4月に活動を行ううえでの指針として「地域・社会共生活動基本方針」を制定し、さまざまな地域・社会共生活動に取り組んできました。

地域・社会共生活動基本方針

九州電力は、快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、以下の原則に基づき、良き企業市民として、積極的に地域・社会共生活動を推進します。

- 1 「地域振興」「文化・芸術」「スポーツ」「学術・教育」「社会福祉」「健康・医療」「国際交流」「環境保全」の分野で、魅力ある地域づくりや次世代層の育成などを行うとともに、地域・社会の課題解決に向けた取組みを行います。
- 2 当社の持つ経営資源を有効に活用した取組みを行います。
- 3 活動内容を公表し、皆さまとコミュニケーションを図ることにより、その声を諸活動に反映させるとともに、地域・社会の皆さまとの協働を進めます。
- 4 従業員が一市民として行う共生活動を支援します。

2006年4月制定

2011年7月改正

重点活動の設定による地域・社会共生活動の充実

当社は、地域・社会共生活動を通じた持続可能な社会づくりに貢献するため、幅広い分野で活動を展開してきました。

今後は、地域の皆さまの期待に応え、地域の課題解決に貢献する地域・社会共生活動を更に充実させるため、環境保全活動や環境教育などの「環境活動」や、子どもの健全育成に寄与する「次世代育成支援」、地域の皆さまと協力して取り組むボランティア活動『こらぼらQでん』などの「地域活動」に重点的に取り組むこととしています。

特に、「環境活動」と「次世代育成支援」については、財団法人「九電みらい財団」を設立し、財団法人の活動を通じて、『ずっと先まで、明るくしたい。』をブランドメッセージとする「九州電力の思い」の実現に向け、今後とも地域への貢献活動に積極的に取り組んでいきます。

(「九電みらい財団」については、P90をご覧ください。)

次世代の育成

～次世代層支援プロジェクト「九電みらいの学校」～

九州の子どもたちに、エネルギー・環境や文化・芸術等に関する学びや出会いの場を提供し、子どもたちの好奇心を刺激するとともに感性を豊かにすることを目的に、九州各地で様々な活動を展開しています。



◎ 出前授業

小学校高学年から中学生を対象として、当社社員等が講師となって学校で授業を行う「出前授業」に取り組んでいます。

「電気をつくる仕組み」や「省エネ」など、4つのテーマについて、見て、ふれて、体験しながら、エネルギーに関する生きた知識を、子どもたちに身につけてもらっています。

2015年度は、計489回、19,675名の子どもたちに学んでもらうことができました。

◎ エコ・マザー活動

子どもたちへの環境教育支援と保護者の皆さまへの環境情報の提供を目的とする「エコ・マザー活動」に取り組んでいます。

この活動は、九州各地で地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境紙芝居の読み聞かせ等を行い、小さなお子さまに環境への配慮の大切さを伝えています。

2015年度は245回、およそ18,700名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

なお、これまでの13年間で、計3,100回以上実施し、約22万名の皆さまにご参加いただいています。

◎ 運動部によるスポーツ教室

当社の「シンボルスポーツ」と位置づけるラグビー部「キューデンヴォルテクス」では、地域の皆さまから愛され、親しまれるチーム作りを行うとともに、小学校の体育授業におけるタグラグビー教室やイベントへの参加など、ラグビーを通じた地域スポーツの活性化に取り組んでいます。2015年度は、15,400名以上の皆さまにご参加いただきました。

また、バスケットボール部「九州電力アーティサンズ」でも、バスケットボール教室を開催しているほか、「柔道部」や「テニス部」などでも、スポーツを通じて、地域の子どもの育成に取り組んでいます。



出前授業



エコ・マザー活動



小学校の体育授業におけるタグラグビー教室（福岡県田川郡）

地域振興への協力

地域の課題解決を目的として産学官で連携して行う地域プロジェクト等に対して、当社グループのノウハウや知見を活用し、積極的に協力しています。今後は、自治体等の「地方創生」に関する課題解決に向けた取組みについても、当社グループの経営資源を活用して提案を行っていきます。

嬉野温泉駅周辺まちづくりアドバイザー業務(佐賀県嬉野市)

嬉野市におけるまちづくりプロジェクトでは、九州新幹線西九州ルート整備にあわせ、駅前と中心市街地が担う機能の検討や官民協働事業の有効性評価など、まちづくりに関する技術支援・コンサルティングを行ってきました。

また、2015年2月に発足したまちづくり委員会においても、当社はまちづくりアドバイザーとして参画し、県・市職員、大学教授、観光専門家、交通事業者および地元市民の皆さまとともに検討を重ね、まちづくりに関する技術支援を通して、提言書の取りまとめに協力しました。

同提言書は、2016年3月にまちづくり委員会から市へ提出され、計画実現に向けた方針書として位置付けられています。



まちづくり委員会会合

指宿市への地域振興策の提案

鹿児島県指宿市が実施した地熱資源の開発を行う発電等事業者の公募では、地域振興策の提案が条件となっていたため、地域の施設での蒸気利用や、グループ会社が持つインターネット通販サイトを活用した地域産品の販路拡大策などを提案し、2015年5月、事業者として選定されました。

今後も、こうした地域振興策の検討・提案を行うなど、地域に対し積極的に協力していきます。



地熱資源の豊かな指宿市

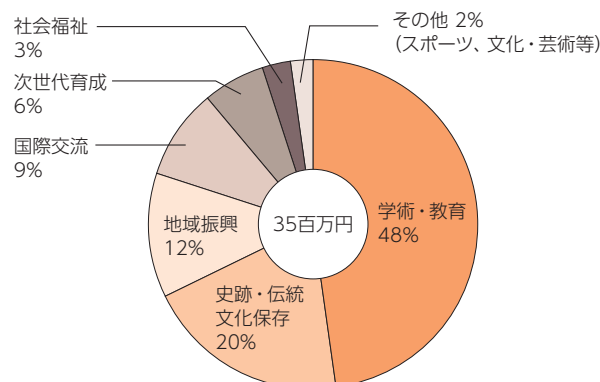
寄附を通じた地域・社会への貢献

九州全域を事業エリアとし、九州の皆さまをお客さまとする当社は、「地域と共に歩み、共に生きる」という考え方のもと、地域社会の発展につながる社会貢献活動の一つとして、一企業市民としての適正な寄附活動を行っています。

2015年度 寄附総額	自治体条例等に定める 救済事業への拠出	27百万円 (44%)
	地域・社会共生活動 としての寄附(詳細は右表)	35百万円 (56%)
61百万円		

(注)百万円未満は四捨五入のため、内訳と総額の数値が合わないことがある。

▼地域・社会共生活動としての寄附内訳(2015年度)



環境保全の推進

設備形成や運用など事業活動に伴い環境に負荷を与えている電気事業者としての社会的責任を果たすため、低炭素社会づくりをテーマとする地域プロジェクトへの

●九州ふるさとの森づくり

「九州ふるさとの森づくり」は、2001年度から取り組んでいる植樹や育林活動[※]で、低炭素社会の実現や生物多様性の保全を目的として九州各地で展開しています。2015年度は、約1,750名の皆さまのご協力により、5か所でボランティアによる植樹・育林活動などを実施しました。

これまでの15年間でおよそ117万本を植樹し、延べ約15万人の方々にご参加いただきました。

▼15年間の活動実績

実施箇所数	延べ642か所
植樹本数	約117万本
参加者数	延べ約15万人

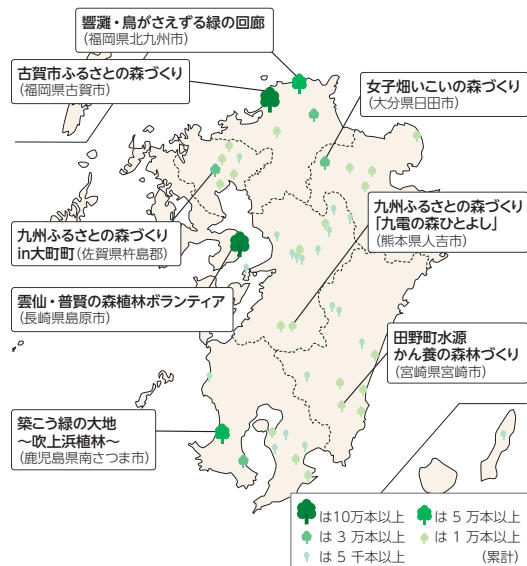
※植樹した苗木の成長を助けるため、植樹後3年程度、苗木の周りの下草刈を地域の皆さまと一緒にやる活動。

▼活動実績(2015年度)

地区	計画名	参加者数(人)
植樹活動	北九州 響灘・鳥がさえずる緑の回廊 第10回植樹会	1,120
	福岡 森と海の再生交流事業植樹祭	190
育林活動	熊本 九州ふるさとの森づくり「九電の森ひとよし」	250
	北九州他 「響灘・鳥がさえずる緑の回廊(北九州市)」など2か所で下草刈を実施	190
合計	5か所 (植樹3か所、育林活動2か所)	1,750

参画や地域との協働による「九州ふるさとの森づくり」など、地域環境の保全に資する取組みを展開しています。

▼これまでの主な植樹箇所



九州ふるさとの森づくり「九電の森ひとよし」(熊本)

ホームページ

企業・IR情報⇒会社情報・CSR⇒環境への取組み⇒九州ふるさとの森づくり

●九州各地での環境活動

2016年度から「Play Forest」と題して、九州各地の森で「学ぶ」「守る」「楽しむ」の要素を織り込んだ環境活動を実施することとしています。2016年5月に、油山市民の森(福岡市)において第1回を開催し、参加いただいた小学生とその家族、約550名に、森の講話や森林保全体験、木工品作りなどのワークショップを体験していただきました。今後も、子どもたちに楽しみながら学ぶ機会を九州各地で提供していくことで、環境を大切にすることを育んでほしいと考えています。



森の講話

環境活動と次世代育成支援活動の充実を目指し 「九電みらい財団」を設立

地域の皆さまの期待に応え、地域の課題解決に貢献する活動を更に充実させるため、「環境活動」と「次世代育成支援活動」を行う「九電みらい財団」を2016年5月に設立しました。

本財団では、地域の皆さまと取り組んできた大分県坊ガツル湿原での環境保全活動や、当社の水源かん養林を活用した環境教育活動を充実させるとともに、地域の諸団体の皆さまが実施する次世代育成支援活動に対して、助成を行ってまいります。

〔活動内容〕

- 環境活動
 - ・ 坊ガツル湿原（大分県竹田市）での環境保全活動
 - ・ 山下池周辺（大分県由布市）での環境教育活動
- 次世代育成支援活動
 - ・ 地域の諸団体が実施する「子どもの学習支援や、子育て世帯支援活動」などの活動への助成



「九電みらい財団」のホームページはこちら→

● 坊ガツル湿原での環境保全活動

くじゅう坊ガツル湿原は、大分県西部に位置し、周囲を九重連山に囲まれた高原性の湿原（約53ha）で、多様な地質・地形を反映した希少な生態系を有することなどから、2005年に国際的に重要な湿地の保全を目的とする「ラムサール条約」に登録されています。

当社は、地域環境との共生を目的として、2000年から15年間にわたり、環境省や竹田市、「九重の自然を守る会」など、地域の方々との協働により、坊ガツル湿原の生態系を保全するための「野焼き活動」を実施しています。

また、坊ガツル湿原の希少な生態系を活用した「次世代層を対象とする環境教育^{ひいじだけ}」や、隣接する平治岳（当社社有地）において、衰退傾向にある「ミヤマキリシマの保護活動」を、地域の方々との協働で実施していきます。



坊ガツル湿原の野焼き



● 山下池周辺(大分県由布市)での環境教育活動

当社は、大分県を中心に4,447ヘクタール(福岡ヤフオクドーム約630個分)の社有林を有しています。この豊かな自然環境を活用し、グループ会社の九州林産(株)と協力しながら、体験型の環境教育を行っています。

「林業体験」では、子どもたちが森を守るために必要な間伐や枝打ち、植樹などを行います。「森林観察」では、大

分県の「次世代の大分森林づくりモデル林」に指定された森の見学や、さまざまな植物を観察します。

さらに、社有林の間伐材を活用し、えんぴつつや木の黒板をつくる「木工教室」など、さまざまなプログラムを通して、環境への気づきになる活動を行っています。

(山下池周辺での環境教育活動)



林業体験



森林観察



木工教室

● 次世代育成支援活動

少子高齢化や共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化などにより、子どもたちの育成環境が大きく変化する中、九州の未来を担う子どもたちの健全な成長を応援するため、九州各地で次世代育成支援活動に取り組む諸団体に対する助成事業を実施しています。

[募集する活動]

・子どもたちへの支援活動

体験を通じて、子どもの社会性や協調性、規範意識などを育むこと、及び九州地域を大切にする子どもの育成を目的とした活動

・子育て世帯への支援活動

共働き世帯や非正規雇用の増加、地域のつながりの希薄化など、子育て世帯を取り巻く厳しい状況を緩和することを目的とした活動



助成団体募集チラシ

豊かな自然環境と 子どもたちが輝く未来のために

「九電みらい財団」の初めての活動として、2016年5月、小学生を山下池周辺の森に招待し、実験や体験を通して森の役割や適切な管理の大切さなどを楽しく学んでもらいました。子どもたちは、森がもつ「水源かん養機能(水をたくわえて、ゆっくりと流す役割)」を目で見て実感し、「きれいな水になって出てきた!」「森の土ってすごい!」など、友だちと盛り上がり、そうだった理由を真剣に考えていました。

財団では、九州の豊かな自然を守り、子どもたちが輝く未来のために、活動を充実させ、継続していきます。皆さまの温かいご支援と、活動への積極的なご参加を、是非お願いいたします。

ごとうりょう
「九電みらい財団」事務局(地域共生本部 地域共生グループ) 後藤 亮



社員の思い

地域に根ざした活動

地域社会の一員としての役割を果たすとともに、地域の皆さまとのコミュニケーションを深めていくため、地域行事への積極的な参加や、コミュニティの安全・安心の取組みを行っています。

地域のまつりへの参加

地域活性化の一環として、また、地域の皆さまとの絆を深めるため、各事業所やグループ会社の社員が地域のまつりへの参加・運営を行っています。

▼2015年度 まつり参加実績

参加者数(社員)：延べ約1,860名

地域のスポーツ大会への支援

地域におけるスポーツ活動の活性化及びレベルの向上を図り、明るく健康的な地域社会の形成を目指して、青少年を対象としたスポーツ大会等の支援を行っています。

▼2015年度 スポーツ大会支援実績

24事業所、30大会、15種目、参加約11,000名

地域課題の解決に向けた取組み

● 独り暮らしの高齢者のお宅等への配線診断

九州各地において、地域の社会福祉協議会や電気工事事業協同組合、教育委員会等の皆さまとの協働により、重要文化財や独り暮らしの高齢者の方の配線診断を実施しています。



独居高齢者宅の電気設備点検(八幡配電事業所)

● 地域の清掃活動

九州各地において、高所作業車を使って、城壁や神社の鳥居、地域の街路灯など、普段は手の届かない場所の清掃活動を行っています。



太宰府市国博通り街路灯清掃(福岡南配電事業所)

● 地域見守り活動

地域に密着した事業形態を活かし、自治体・関係団体との協定や覚書等を締結して、87のネットワークに参画し、地域の見守り活動や防犯活動への協力を行っています。

2015年度は、高齢者等の見守り活動において、九州全域で24件の通報を行いました。

● 「子ども110番」活動への協力

「子ども110番」活動への協力など、子どもが犯罪に巻き込まれない環境づくりを九州全域で実施しています。



のぼり



子ども110番ステッカーを貼付した車両

● 不法投棄パトロール

業務用車両での移動中などに廃棄物の不法投棄を発見した場合、自治体へ情報提供を行う「廃棄物の不法投棄対策に関する協定」を21事業所で、延べ46の地元自治体と締結し、環境美化の保全に協力しています。

グループ会社における地域・社会共生活動

グループ会社における取組み

九州電力グループでは、グループ一体となった社会貢献活動に取り組んでいます。毎年、書損じ・未使用ハガキ、使用済切手、外貨(コイン)を収集する「収集ボランティア」を実施しており、地域のNPOやボランティア団体など、地域・社会の課題解決に取り組む団体へ収集物を寄附しています。また、寄附した団体との協働によるボランティア活動も展開し、地域の課題解決に取り組んでいます。

子どもくるくる村in九電を開催

2015年6月、NPO法人循環生活研究所と協働で、子どもたちが就業体験を通じて仕事とお金の関係や循環型社会について学ぶイベント「子どもくるくる村」を、電気ビル共創館(福岡市)で開催しました。「子どもくるくる村」は子どもたちがお仕事を体験し、働いて得た給料(擬似通貨)で買い物やゲームができるイベントで、2000年から同法人が実施しています。

当社からは高所作業車への搭乗や電線の被覆剥ぎをする「電気屋さん」を出展、当社グループ会社からも、九州林産(株)による「えんぴつ工房」や記録情報マネジメント(株)による「はがき屋さん」などのブースを出展しました。また、運営スタッフとして、グループ会社14社から65名のスタッフが参加しました。

収集物寄附先(2015年度)

〔書損じ・未使用ハガキ〕

- 収集枚数 … 4,944枚(約225,100円相当)
- 寄附先 … NPO法人 循環生活研究所

〔使用済切手〕

- 収集量 … 約43kg(約21,700円相当)
- 寄附先 … 福岡市社会福祉協議会ボランティアセンター

〔外貨(コイン)〕

- 収集額 … 約151,900円相当
- 寄附先 … 公益財団法人 日本ユニセフ

当日は約440名の子どもたちが参加し、笑顔いっぱいであらゆる体験するお仕事を楽しんでいました。



TOPICS >>> 希少植物保護活動 ～九州林産(株)～

九州林産では、九州電力社有林内に自生する希少植物の保護活動を展開しています。

大分県くじゅう連山の平治岳には、希少植物のミヤマキリシマが自生しています。6月頃には山一面をミヤマキリシマの花が覆い、その美しさで多くの

登山者を魅了していますが、近年はノリウツギ等の植物に被圧され、減少傾向にあります。そこで、九州電力大分支社と協力して、ノリウツギの伐採等を行い、ミヤマキリシマの保護を行っています。

この他にも、九州電力社有林内には、トキシウ、サギソウ、サワギキョウなど希少植物の生育に必要な環境が残っています。希少植物という財産を次世代に引き継ぐという強い思いを持って、保護活動を持続的に行っています。



ミヤマキリシマ(平治岳)



ノリウツギ等伐採の様子



トキシウ



サギソウ

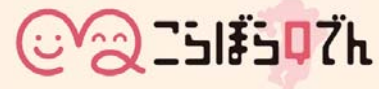
九州各地における地域の皆さまとのボランティア活動

当社では、2014年から、NPOや地域の方々と協力して取り組むボランティア活動「こらぼらQでん」を九州各地で展開しています。

2015年度は、九州全域で計20団体と計28回の活動を行い、約1,600名の方にご参加いただきました。今後も、地域が抱える課題の解決に向けて、より多くの地域の方々と一緒に取り組んでいきます。

なお、大分支社エリアについては、坊ガツル湿原の野焼きや平治岳の登山道整備などを行っています。詳しくは、P89「環境保全の推進」をご覧ください。

名称とロゴマーク



「こらぼら」とは、「コラボレーション」と「ボランティア」を掛け合わせた造語です。

ロゴマークは、左から「コラボ」の「C」、「ボランティア」の「V」、九州電力の「Q」を表し、2つの笑顔を繋げました。

ボランティアに取り組む温かい気持ちや地域の皆さまとのつながり、親しみやすさを表しています。

どんぐりからの苗づくり「どんぐりポッケ」

～こらぼらQでん×鳥がさえずる緑の回廊実行委員会～

2015年11月に響灘グリーンパーク（北九州市若松区）において、どんぐりの苗ポットづくりボランティア「どんぐりポッケ」を開催しました。

森やどんぐりについて楽しく学んだ後、参加した子どもたちは動物のお面をつけて森の中へ。動物の気持ちになって夢中でどんぐりを拾い、どんぐりの苗ポットを作りました。

子どもたちが作った苗ポットは2年をかけて育てた後、北九州市が毎年3月に行っている「響灘緑の回廊植樹会」にて植樹する予定です。

北九州



きゅうでん米作りプロジェクト

～こらぼらQでん×オイスカ西日本研修センター～

福岡市早良区の脇山地区で、地域活性化と子どもたちへの食育をテーマに、田植えから収穫までを体験してもらう「きゅうでん米作りプロジェクト」を実施しました。

2015年6月の田植えには、都市近郊から約100名の親子が参加。子どもたちは泥んこになりながら笑顔で田植えを行いました。

待望の稲の収穫は2015年10月。約230名が参加して稲刈りに汗を流し、コンバインによる脱穀まで行いました。収穫量は約500kg。作業後は、新米のおにぎりに舌鼓を打ちました。

福岡



美しくなった佐賀城で皆さまをお迎えします

～こらぼらQでん×佐賀城本丸歴史館～

2015年10月に国の重要文化財に指定されている佐賀城の「鯨（しゃち）の門」と城壁の清掃活動を行いました。

今年は、社員や佐賀城本丸歴史館の方々に加え、佐賀県、佐賀市、地域にお住まいの方々など、総勢108名が参加。鯨の門周辺の除草を行なうとともに、城壁など高い場所に絡みついたツタは、当社の配電社員が高所作業車やはしごを使って丁寧に取り除きました。

佐賀バルーンフェスタや唐津くんちなど、佐賀県を代表するイベントを前に、美しくなった佐賀城で皆さまをお迎えすることが出来ました。

佐賀



みんなが集い、食べる里山づくり

～こらぼらQでん×NPO法人 おおむら里山村づくり委員会～

2015年11月に、長崎県央に位置する大村市の景観豊かな里山で保全作業を実施しました。この里山は、広さ5haの県立大村城南高校旧徳泉川内実習地。NPO法人 おおむら里山村づくり委員会が、次の世代に繋げていく貴重な地域資源として、2012年に長崎県から借用した場所です。

今回は、山林保全に向けた遊歩道整備や草刈りなどを実施。今後も、地域の方々や地道に整備を行い、大人から子どもが集い、共に学ぶことが出来る人材育成・環境学習の場として守り育てていく予定です。

長 崎



子どもたちに自然とのふれあいの場を

～こらぼらQでん×公益財団法人 熊本 YMCA ～

2015年4月に、熊本県阿蘇市の阿蘇キャンプ場と的ヶ石キャンプ場で、ブルーベリーの植樹や花壇づくりを行いました。

熊本YMCAの会員や地域の方々、当社社員など約100名が参加。子どもたちは苗を植えたり、添え木をしたりと一生懸命作業をがんばってくれました。

作業後には、バーベキューを行い、みんなで交流しながら楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

2015年9月には、ブルーベリーの収穫や熊本県立大学の協力による防災ワークショップを開催しました。

熊 本



地域に開かれた学校づくりをお手伝い

～こらぼらQでん×都城市立高城中学校～

2015年8月、都城市高城中学校の校庭において、地域の方々と中学生が交流するためのベンチや花壇の製作を行いました。

2回にわたって行われた活動には、同中学校の生徒や先生、PTAの方々、当社グループ会社社員など、延べ135名が参加。全員で協力して取り組み、地域のコミュニケーションの場を作ることができました。

校長先生からは「素敵なベンチや花壇が完成してありがたい。地域の方々と一緒に役立てていきたい」とお礼のお言葉をいただきました。

宮 崎



竹林を整備し、安全安心な街づくり

～こらぼらQでん×NPO法人 いちごいち笑×日置市妙円寺地区会～

「通学路の竹林が荒れて困っています。」という地域の声を聞きつけ、2016年2月に、日置市妙円寺地区において竹林の整備を行いました。

地域の方々を含め総勢41名が、台風や積雪の影響で折れたり倒れかかった竹の切り出しや、生えすぎた竹の間引き、遊歩道清掃等を実施。2時間半で一带は見違えるようにきれいになりました。

整備活動の数日後には、伐採した竹を使ったイベントを開催。親子連れ56名が参加し、地区会の昔遊びの達人に教わりながら、竹とんぼや竹馬づくりを楽しみました。

鹿 児 島



従業員が行う共生活動への支援

従業員が積極的にボランティア活動に取り組めるよう、ボランティア休暇制度(年間7日間)や活動費用補助、社内掲示板での情報提供などの環境づくりを行っています。

これらの制度を活用して、2015年度は延べ約6万人の従業員がボランティア活動に参加しました。

また、これまで長期間にわたる地道な地域社会貢献活動を表彰してきた「地域社会貢献者表彰制度」は、2015年度から、短期間の多種多様なボランティア活動も表彰対象に加えています。

▼ボランティア休暇制度・地域社会貢献者表彰実績

年 度	2013	2014	2015
ボランティア休暇 取得実績(日)	146	258.5	147
地域社会 貢献者表彰(人)	19	16	20